

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2003-195303(P2003-195303A)

【公開日】平成15年7月9日(2003.7.9)

【出願番号】特願2001-399557(P2001-399557)

【国際特許分類第7版】

G 02 F 1/13357

F 21 S 2/00

G 02 B 5/04

G 02 F 1/1335

// F 21 Y 105:00

【F I】

G 02 F 1/13357

G 02 B 5/04 A

G 02 F 1/1335 5 2 0

F 21 S 1/00 E

F 21 Y 105:00

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光を出射する面状発光部と、少なくとも一面側がプリズム形状を有するプリズム面を備えたプリズムシートと、前記面状発光部と前記プリズムシートとの間に配置された光学手段と、を備えた照明装置であって、

前記光学手段は、前記面状発光部から該光学手段に出射された光のうち前記面状発光部の法線方向に対して所定の角度範囲で出射された光を、前記面状発光部の法線方向に対して前記所定の角度範囲よりも大きい角度範囲で回折または散乱させて前記プリズムシートに向けて出射させることを特徴とする照明装置。

【請求項2】

前記光学手段は、前記面状発光部から該光学手段に出射された光のうち前記面状発光部の法線方向から±20度の角度範囲で出射された光を、前記面状発光部の法線方向から±20度の角度範囲よりも大きい角度範囲で回折または散乱させて前記プリズムシートに向けて出射させることを特徴とする請求項1に記載の照明装置。

【請求項3】

前記プリズムシートは所定方向に凸部の稜線が延びる前記プリズム面を有しており、該プリズムシートを複数枚備えるとともに、前記凸部の稜線が延びる所定方向が互いに異なるように前記複数枚のプリズムシートが配置されていることを特徴とする請求項1又は2に記載の照明装置。

【請求項4】

前記面状発光部は、有機又は無機EL素子を光源として有することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか一項に記載の照明装置。

【請求項5】

前記光学手段は、ホログラム層またはホログラムフィルムであることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか一項に記載の照明装置。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれか一項に記載の照明装置が用いられたことを特徴とする液晶装置。

【請求項7】

請求項6に記載の液晶装置を表示手段として備えたことを特徴とする電子機器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の照明装置は、光を出射する面状発光部と、少なくとも一面側がプリズム形状を有するプリズム面を備えたプリズムシートと、前記面状発光部と前記プリズムシートとの間に配置された光学手段と、を備えた照明装置であって、前記光学手段は、前記面状発光部から該光学手段に出射された光のうち前記面状発光部の法線方向に対して所定の角度範囲で出射された光を、前記面状発光部の法線方向に対して前記所定の角度範囲よりも大きい角度範囲で回折または散乱させて前記プリズムシートに向けて出射させることを特徴とする。